

## 企業の“進化”をテーマに語り合う

～強靱な企業づくりの実践から学ぶ～

2月9日に四日市都ホテルで開催された北勢支部2月例会では、中同協会長の鋤柄氏、中同協副会長の宮崎氏、三重同友会代表理事の服部氏の3氏をパネリストとしてお招きし、伊藤会計事務所の伊藤氏をコーディネーターに企業の“進化”について深く議論しました。

パネルディスカッションの前半では、伊藤氏から「どのような状況に置かれた時に会社がどのように変わってきたのか」「その変化のきっかけと形になるまでにどのくらいの期間を要したか」「企業が変わる過程で捨て去ったものは何か」といった問いかけがあり、鋤柄氏からは公害問題をきっかけに水処理から総合環境企業へと変化してきた過程を、宮崎氏からは出荷容量管理から本数の出荷数値管理に変化するに伴い商品や営業方法が変化してきたこと、服部氏からはメッキ処理技術を核に計測・分析などの周辺技術、電解研磨の応用技術へと事業の幅を広げてきた事を報告い

ただきました。企業が進化する背景は3者3様ですが、その1歩目は経営者が覚悟を決めて踏み出さないと企業が変わらない事は3社とも共通している点でした。

休憩を挟んだ後半では会場からの質問にパネリストの3者が答える形で進行し、「トップとして組織内の意思統一をどう行なっているか」「新しい物事(未知の物事)に出会った場合の心構えは」といった質問や、中には「もし今、若かったら何をするか」といった質問もあり、パネリストとコーディネーター、会場参加者が双方向で話し合えた例会となりました。

参加者からは時間が足りなかったので続編を行なってほしいといった声や、若い会員からは、(パネリストの)感性が高く、現在でも新しい物事を積極的に取り入れている事に驚き、これから自社の事業を進めていく上でも参考になったといった声も聞かれました。



(伊藤氏)



(左から 鋤柄氏 宮崎氏 服部氏)

## 支部例会だより

中勢支部 2月例会

テーマ

地域資源活用の

『新たなビジネスモデルづくり』

～キーワードは環境・地域・高齢者  
そして農業～

報告者：伊藤朗氏

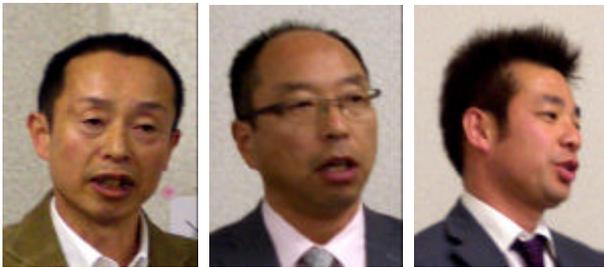
F・テクノ (有) 代表取締役

西岡直人氏

(株) 東洋ハウジング 代表取締役

松本浩氏

(有) 深緑茶房 代表取締役



(松本氏)

(伊藤氏)

(西岡氏)

2月23日(水)、松阪にて開催された中勢支部2月例会は、『地域資源活用の新たなビジネスモデルづくり』～キーワードは環境・地域・高齢者そして農業～、と題し、新たなビジネスモデルのご報告をいただきました。厳しさを増す経済状況の中、地域の消費が減少していく中で、単なる「町おこし」ではなく、「町を守る」ことが必要とされる時代を迎えたとき、一企業、一業種ではなく、地域を取り巻く企業や人が集まり全体で地域を支える必要性があるということ。これらを考えた上での今回の事例は、伊勢志摩の地域リソースに焦点を絞り地域の農業を主体にした新しいビジネスモデルで、特に高齢者の雇用を促進するといった内容でした。ビジネスそのものの実現には、まだまだ沢山の課題がありそうですが、企業や地域のあり方が変革していく中で何が大切なのか、また疲弊していく経済情勢を嘆くばかりでなく、新たなビジネスの鍵は身近にあるということを改めて考えさせられた内容でした。また地域を守る鍵は、単

なる「地産地消」だけでなく、かつ個々の利益を追求する地域企業の発展だけでなく、地域を取り巻く企業や人が一体となって地域をPRし、自分たちの地域を自分たちの手で守ることを真剣に考えた新たなビジネスの創造にある、そんな報告者の熱い思いを感じた2月例会でした。

報告者の皆様、そしてお集まりいただいた皆様、お疲れさまでございました。合掌

(株)タケカワダイヤツール 竹川 博子

南勢支部 2月例会

テーマ

『やっぱり会社の魅力作り』

～会社の夢を追うために、

経営者としてやっている事～

報告者：市田淳一氏 (株)東海テクノ 社長



(市田氏)

南勢支部2月例会は、『やっぱり会社の魅力作り』～会社の夢を追うために、経営者としてやっていること～をテーマに、北勢支部会員の(株)東海テクノの市田淳一さんに講演して頂きました。

市田さんは、8年前に代表取締役社長として会社を引き継がれたわけですが、大学卒業後はIT企業に就職されました。そこではプログラマーとして活躍され、その経験が今の仕事に大いに役立っているとのことでした。

小さい頃から物作りをしたいと思う信念は変わる事なく、常に前向きで新しい発想で行動されています。

そんな中、人間工学として話された、

- ・人間はミスする生き物である。
- ・人間は思い込む生き物である。
- ・人間は忘れる生き物である。
- ・人間は疲れる生き物である。
- ・人間は魔が差す生き物である。

という事を念頭において行動(仕事)することで、相手の適正を知り、どのように対応し

てくるかが決まってくる。また、自分ができる事が相手にできるとは限らない。いかに相手に気づかせ考えを伝えるか、トップとしての在り方を考えさせられた、お話でした。最後に語られた、「めげる時もあるけれど、自分なりに乗り切れた時、そこには感謝の思いしかない。」「今日もどこかで”これからも沢山の出会いが待っている。」そんな明るいメッセージを頂きました。

(有)末広電機商会 中川 啓子

## 新会員のご紹介(敬称略)

(23.1.21~23.2.22)

もり だいすけ  
森 大介 (有)三重木型製作所  
四日市市大字羽津乙873-11  
代表取締役

059(363)3550

業種 発泡樹脂製品の切削加工  
北勢支部 紹介者:太田智英子

ふくながしょうぞう  
福永昭三 (株)マネジメント教育研究所  
四日市市中里町26-2  
代表取締役

059(345)6050

業種 教育研修セミナー開催、コンサルティング  
北勢支部 紹介者:三重同友会

## 『復活!!会員訪問日記』

### ~すべて同友会のおかげ~

今回訪問させていただいたのは、中勢支部の株式会社ミツイバウマテリアルです。少し大げさなサブタイトルをつけてしまいましたが、三井氏のお話を聞く中で、何度も出てきた言葉であったので、使用させていただきました。

1951年金物類の販売業として始まった家業を継ぎ、1991年「売上を3倍にする!家業を会社組織へ変える!」という思いを胸に、三井氏が社長に就任します。学生を採用しようと考えても、就職希望者が引く手あまたの時代、経営指針も就業規則もないような会社では相手にもされず、同友会のセミナー等へ積極的に参加し、経営指針、就業規則、教育規定、給与規定をすべて同友会で作っていき、同友会で学びながら10年かけ会社組織へと変えていったそうです。

もちろん常に順風満帆というわけではなく、経営者として大きな失敗をしたこともあります。同友会会員の「100回やって2,3回成功するだけだよ。」というたった一言で、精神的に楽になり、やる気を取り戻すことができたとも話されていました。三井氏の

話を聞きくと、同友会で経営を学ぶということは、1回きりの関係で終わってしまうものではなく、学んだことを伝え、そしてまた自分の物にしていくことで広がりが増し、人間関係が深まり、大切な仲間ができるのだと伝わってきます。その仲間のうち6社が協同組合を作り、6万㎡もの農地を購入し、転用することで、1998年に現在の大きな倉庫を建設することができ、材料の高騰が進む今となっては在庫を抱えることができる強みとなり、同業他社との差別化にも繋がっているとのことでした。

最後となりましたが、今年で創立60周年を迎えられます。「同友会で聞いたことは、実践する。実践してこそ会社は変わる。」と言う三井氏の謙虚に学び実践する姿勢が、より強靱な企業をつくり、次の70周年また100周年に向けて、ますます成長をしていくことでしょう。

南勢支部の経営を語る会にて講師として話していただいた内容も含めて、書かせていただきました。

(事務局 金澤)

## 第29回定時総会

### パネルディスカッションは地域の強みを活かした経営報告から学ぶ

総会の記念パネルディスカッションでは(株)希望荘の山本社長と(株)サノプランニングの佐野社長から、それぞれ違う形で地域の持つ強みに着目し自社の経営戦略に取り入れて変化しているその実践を報告いただきます。

湯の山温泉ではなく絵野温泉とし、地域産の食材や景色などを売りとしている山本氏、駅前周辺という地の利を活かして積極的に店舗展開する佐野氏。地域に対する考え方は違えどその強みを自社の経営に活かしている2人の報告は、厳しい経営環境が続く中でも新たな自社の強みを創り出すきっかけになると考えます。ぜひご参加下さい。

### 第29回定時総会開催要項

日時：平成23年4月22日(金)

会場：希望荘

内容：(1)第29回定時総会  
(2)記念パネルディスカッション

テーマ『激動の時代に打ち克つ  
地域経営とは』

～自社の強みをどう創るか～

パネリスト

山本春三氏

(株)希望荘 代表取締役社長

佐野貴信氏

(株)サノプランニング 代表取締役

コーディネーター

高橋義弘氏

(株)高橋総合経営 代表取締役

(3)記念パーティー

参加費：10,000円(1泊2食付)

パーティーまでの場合6,000円

### ◀同友コラム▶

共育ち委員会企業見学会に参加して

下津醤油(株) 下津浩嗣

共育ち委員会の研修旅行は福井同友会にご協力頂き、日本の眼鏡製造業界でシェア九六%を占める鯖江市へ行きました。

初めに社団法人福井県眼鏡協会専務理事坂野様から鯖江市の眼鏡作りの歴史や業界の動向について丁寧にご説明を受けた後、製造会社であるシャルマンを訪問しました。

「製品は価格ではない、よいものは顧客が納得すれば高くても売れる！」という、安さではなく技術を顧客に売る方向性を確立し、これからのシャルマン社の明るい未来を予感させる製品でした。

この姿勢は自らがどの業界にあっても、実践すべき事例であり、大変勉強になりました。

話を聞くのも勿論勉強になります。が、実際の現場を見ると、より深く学ぶことが出来ます。

今後このような企画があれば是非参加したいと思えます。

従来上代が四万円以上のフレームは売れないと言われる中、五万円近くするこの製品は展示会で素



## 各支部例会のご案内

### 桑名支部 4月例会

テーマ『第29回定時総会』

日時 平成23年4月22日(金)  
13:30~20:40

会場 希望荘

参加費 10,000円

第1部 第29回定時総会

第2部 記念パネルディスカッション

第3部 記念パーティー

### 北勢支部 3月例会

テーマ『価格決定権を手にするために』  
~価格決定したければお客の売上を  
上げる!デフレをぶっとばせ!~

日時 平成23年3月16日(水)  
19:00~21:00

会場 四日市農協会館JA第1ホール

報告者 川嶋敏文氏  
クラタヤ(株) 代表取締役

### 中勢支部 3月例会

テーマ『縮小する日本酒市場。  
逆風の中で生き残る地元酒蔵の戦略!』  
~元坂酒造が起こす日本酒ルネサンス~

日時 平成23年3月16日(水)  
18:45~21:00

会場 アスト津 研修室

報告者 元坂 新氏  
元坂酒造(株) 代表取締役

### 伊賀支部 3月例会

未定



### 南勢支部 3月例会

テーマ『食品商品開発の基本』  
~開発・生産・販売はワンセット~

日時 平成23年3月15日(火)  
19:00~21:00

会場 いせトピア 絵画室

講師 石原 祥久氏  
千の幸(株) 代表取締役

### 尾鷲・熊野グループ 3月例会

テーマ『未定』

日時 平成23年3月17日(木)  
19:00~21:00

会場 未定

---

## 第1回新旧合同理事会まとめ

### (1) 平成22年度第11回理事会のまとめ

#### 1、各種報告事項

経営者の共育ち委員会（略）

賃金・退職金見直しセミナー（略）

#### 2、第29回定時総会の報告と提案

- ・当日のタイムスケジュールと役割担当の確認・準備状況について（略）
- ・記念行事については、テーマを「激動の時代に打ち克つ地域経営とは」～自社の強みをどう創るか～とし、コーディネーターには桑名支部より提案された(株)高橋総合経営 高橋義弘氏とすることが承認されました。
- ・バズセッションの実施については、懇親会で行なう予定をしておりましたが、メリハリがつかず、運営上にもグループの取りまとめや討論発表などに問題点が多くあるため、タイムスケジュールを再度調整し、記念行事内に行なうこととしました。

#### 3、各委員会の報告と提案

総務委員会

- ・1月度月次決算報告
- ・今年度の決算及び次年度予算案の審議にあたり、e-doyuシステムの活用向上と操作性や利便性の向上を追及していくこととしました。また提案のあった事務局のトイレ改修については、大家さんへ確認を取り、工事見積を取った上で検討していくこととしました。

企業リスク研究委員会

SW2EETみえについては、小黒理事長より報告提案があり、SW2EETみえとビタミンみえの活動統一化とNPO法人SW2EETみえの切り離し、及びビタミンみえ推奨認定制度の導入については、次回理事会でも引き続き検討することとしました。

#### 4、入退会者の承認（略）

#### 5、前回理事会以後の活動報告（略）

### (2) 平成23年度理事予定者会議

#### 1、平成23年度の活動の基本的な方向について

平成23年度活動の基本的な方向について正副代表理事会議の報告と次年度活動方針案が報告されました。また次年度の組織課題については、次回も引き続き議論していくことが確認されました。

とりわけ今回の正副代表理事会議では、次年度の組織課題として伊賀支部・尾鷲グループの会員増強と活動支援について話し合われ、事務局の会員訪問を中心にそれぞれの地域の現状と課題を把握することと、会員のニーズに合った魅力ある活動作り正副代表理事をはじめ理事会が協力していくことを申し合わせました。

また事務局の体制・活動強化についても、会員訪問を活動の軸に会員企業の把握と人間関係の構築を計画的に取り組むことを課題とし、理事幹事は事務局員の育成と活動を支援し、協力していくこととしました。

23年度の活動テーマ・方針案については、改めて次回理事会及び支部長幹事長会議で確認し、支部方針とのすり合わせをすると共に意見交換を行なうこととしました。

#### 2、23年度の事業内容の確認

第19回経営研究集会の開催について、主管支部を中勢支部として実行委員会形式で開催することを確認しました。

#### 3、理事会の開催について

理事会の開催日は毎月23日で行う事を申し合わせました。但し、23日が土日祝日となる場合は前倒しで21日、または22日に開催します。